

有田川町過疎地域持続的発展市町村計画（案） についてのパブリックコメントの結果について

令和7年9月16日（火）～令和7年9月30日（火）まで実施しました
『有田川町過疎地域持続的発展市町村計画令和8（2026）年度～令和12（2030）年度（案）』に対するパブリックコメントについて、町民の皆様からお寄せいただきましたご意見及びそれに関する回答を取りまとめましたので公表します。

（1）意見の数・・・4件（提出者 2名）

（2）意見の内容と回答について（受付順）

	意見の内容	回答
1	<p>外国人の移住や活躍、観光についての視点が全く記載されていない。</p> <p>今後、日本国内の移住者や関係人口を増やしていくことは重要な視点の一つであるが、外国人の受け入れや観光をもっと積極的に行う施策を町としてもしていくべきだと考える。</p> <p>高齢者をはじめ、外部の人と馴染みにくい風潮があるのであれば、そのようなことを取り除く施策や、一部地域で積極的に推し進めて成功事例を作っていくべきだと考える。</p> <p>この点は、行政でないと難しい部分なので積極的に推し進めてほしい。</p>	<p>外国人の受け入れや観光振興の積極的な推進については、移住や関係人口の拡大を図る上でも重要な視点であると認識しているところです。</p> <p>一方で、外国人政策については地域の実情や住民の受け止め方をはじめ、様々な意見があることから、国の施策や動向を十分に踏まえながら、町としての取組についても検討を進めてまいりたいと考えております。</p>
2	<p>デジタル化や省力化、コンパクトシティなど、先進的な取り組みをする視点が不足しているように感じる。</p> <p>事例がない取り組みをすることで、それに魅せられて若い人や町内の若者も自分の町に残りやすくなる。</p> <p>特区の設定や、DOMなど積極的に外部の人材と町内の人材が一体となって、効率的に魅力ある町作りに取り組んでほしい。</p>	<p>デジタル化や省力化、コンパクトシティなどへの先進的な取組については、町や地域ごとの実情や住民の受け止め方など、様々な意見があることに留意する必要がありますので、国や県、周辺自治体の施策や動向を十分に踏まえながら、魅力あるまちづくりを進めるための取組について検討してまいりたいと考えております。</p>

	意見の内容	回答
3	<p>ページ 18 (9) 観光又はレクレーション 表 3 行目「鉄道交流館施設管理事業」 9 行目「鉄道交流館整備事業」</p> <p>の 2 項目が上がっているが、鉄道公園全体を考える必要はないのか？</p> <p>有田川鉄道公園は、有田鉄道の敷地跡に整備された公園で、金屋口駅、鉄道路線、ピット、鉄道交流館・公園敷地・SL 保管施設・駐車場と保存列車で構成されており、それぞれに施設整備の管理や整備が必要である。</p>	<p>ご意見いただいたとおり、鉄道公園については、関連の施設を含め鉄道公園全体の管理や整備が必要であると認識しております。</p> <p>本計画の表中では、鉄道公園全体の管理や整備について、表中 3 行目の「鉄道交流館施設管理事業」と 9 行目の「鉄道交流館整備事業」として整理しているところであり、上記の 2 事業の中に、これら全体の管理や整備が含まれているという意味合いですのでご承知おきくださいますようお願いいたします。</p>
4	<p>新旧対照表ページ 24 事業計画（令和 3 年度～令和 7 年度） 10 地域文化の振興等 (1) 地域文化振興施設等</p> <p>6 項目目 「公園整備事業」 が削除されている。 令和 8 年度～12 年度には項目はない。 公園整備は、住民アンケートでも要望があり、町の公園整備比率も低いと認識しているが、今後、防災公園も含め公園整備が必要であると考えるが、新計画で表記する必要はないのか。</p>	<p>事業計画の表中の 6 行目公園整備事業については、清水地域に整備した公園に関連しており、令和 6 年度中に「Shimizu なかよしパーク」として事業が完了したため新計画には記載しておりません。しかしながら、住民アンケートでも要望が上がっていることは承知しているところですので、今後、町内での公園整備の計画について具体的な検討がされる段階で随時、事業計画に記載することを考えています。</p> <p>また、防災公園については、「6.生活環境整備 力防災施設・対策」の項目において、その整備の検討について記載することとします。</p>